

国際理事会報告

2010年度ICD国際理事会報告

国際理事 千田 彰、橋本 光二

2010年度I.C.D.国際理事会（International Council Meeting）がアメリカ、フロリダ州オーランド市のThe Peabody, Orland（図1）にて2010年10月6、7日の両日に亘って開催された。ご存知の通り、この国際理事会は、年に1回開催され、アメリカ国内とそれ以外の国での開催は、隔年ごとになっている。またアメリカで開催される場合は、アメリカ歯科医師会（ADA）総会開催都市で、その直前に行われることになっていて、今回もこの国際理事会後には、オーランドのコンベンションセンターでADA総会が開催された。

オーランドと言えば、ディズニーワールド、シーワールド、ケネディー宇宙基地などを連想するアメリカの超有名かつ定番の観光・保養地・避寒地であり、毎日のように全米規模、国際規模の会議も開催され、家族連れの観光客だけでなく多くのビジネス客も訪れる（図2）。10月という（オーランドでは）オフシーズンであったこともあろうが、滞在ホテルの近くのレストランのウエイトレスらは口々に「不景気なのか、客が少ない」と嘆いていた（図3）。20年ほど前に来たときと比べると、やはり「閑散」としている感じがした。理事会は、今回から2日間「みっちり」ということ



図1 会場The Peabody, Orland。オーランドコンベンションセンターに面している



図3 さすが有名観光地！料理は安くてうまい！カニ食べ放題で一人2千円は安い



図2 理事会会場からも比較的近いところにSea Worldがある



図4 理事会会場。理事の席順は、アルファベット。テーブルには各部会からの配付物がところ狭く並ぶ



図5 報告などは席を立て、あるいは発言台で。齋藤前会長のマスター称号申請中の筆者



図7 前会長から新会長へのGabelの手渡しの儀式



図6 新役員。左から会長、編集長（のちに事務局長）、事務局長（のちに退任）、事務局長代理（Dr. Zissi）、次期会長、財務、副会長



図8 理事会初日終了後のアメリカ部会長の招待レセプションで。ご夫人方を交えてのお付き合いも大切で、様々な話題が飛び交う

になり（これまでは1日半）、これまでと比べるとかなり「突っ込んだ」議論が行われたように感じた。役員8名、国際理事28名の参加のもと、6日早朝から、恒例により、点呼の後、前年（横浜）の理事会の議事録承認が行われ、各役員、委員会の報告がこれに続いた（図4）。重要な案件としては、1）新Section（中国、ミャンマー）設立とRegion編成に伴う定款や規程の変更、2）Caption Feeの値上げ（その後実施が延期され2012年1月からとなった）、3）会員管理データベースの構築（2011年度から）、4）今後の国際理事会開催のあり方（次年度の6ヶ月以内に開催することが決められた）、5）2011年度（インド・ニューデリー）・2012年度（サンフランシスコ）・2013年度（中国）の国際理事会開催地…についてなどであり、その他今後の役員選出のあり方をより民主的かつ透明性を上げたものとする（Nomination Committeeの委員に前会長らのほか5番目の委員として理事から1

名加える）…なども議論され、決議された。この点は、マスターフェロー称号授与のあり方についても話が及び、今後はマスターの申請と承認の手続きは厳しくなるようである。これらを総じて言うなら、国際理事会は、ここ数年の間はかなり民主的かつ合理的な運営がされるようになってきたように感じる。

日本部会からは、例に則り、部会の活動報告を誌上も含めて行い、また齋藤毅前会長のマスター称号授与申請を行った（図5）。齋藤毅前会長へのマスター称号授与は承認され、理事会終了時には称号記を私どもでお預かりすることが出来た。今年度は、齋藤毅マスターの他、台湾部会の3名、オーストラリア部会、メキシコ部会の各々1名にマスター称号が授与された。

国際理事会の最終イベントは、新年度役員の選出であり、今年度も会長、次期会長を別に（会長は、次期会長が、次期会長は副会長が自動的に昇任するた

め)、副会長にLeon Aronson (アメリカ部会)、財務にClive B. Ross (ニュージーランド部会)が選出された。Charles L. Siroky (アメリカ部会)は新会長に、Garry W. Lunn (カナダ部会)は次期会長に各々昇任した(図6)。(その後事務局長Hoffeldが退任し、編集長Hintermanが事務局長に、編集長にSheldonが就任する異動があった)そして全員の拍手のもとGabel(会議長のシンボルである木槌)を前会長Seidemannから新会長Sirokyへと手渡された(図7)。

理事会の討議のあとは、理事会の懇親夕食会、ホスト部会長の招宴などがある。くつろいだ中から理事個々のお付き合いや親密度が深まり、強いては部会の間、本部と部会の信頼も高まるのではなかろうか(図8)。

次回2011年度国際理事会は、インド・ニューデリーのThe LaLit Hotel, New Delhiで11月11、12日に開催される。